

学習目標（「身につけたい力」）

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を通し、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- (2) 観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養わせる。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養わせる。

学年	第1学年	第2学年	第3学年
時数	年間 105 時間	年間 140 時間	年間 140 時間
1 学 期	<p>生命・エネルギーは4月～9月まで授業を行います。 物質・地球は10月～3月まで授業を行います。</p> <p>4月～9月 (生命・エネルギー) 10月～3月 (物質・地球)</p> <p>(生命) 身近な植物などについて観察・実験を通し、生物の調べ方の基礎を身につけ、植物の体のつくりと働きを理解し、種類や生活について認識を深める学習をします。 1章 植物の特徴と分類</p> <p>(エネルギー) 身のまわりの現象について観察・実験を通し、光や音の規則性、力の性質について理解し、これらの事象を日常生活や社会と関連付けて科学的に分析し考える力を養う学習をします。 1章 光による現象 2章 音による現象</p>	<p>生命・物質は4月～9月まで授業を行います。 地球・エネルギーは10月～3月まで授業を行います。</p> <p>4月～9月 (生命・物質) 10月～3月 (地球・エネルギー)</p> <p>(生命) 植物や動物などの観察・実験を通し、生物の体は細胞からできていることや動物の体のつくりとはたらきを理解します。また、動物の生活と種類についての認識を深め、生物の変遷について理解する学習をします。</p> <p>1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき</p> <p>※4章以降は2学期</p> <p>(化学) 化学変化と原子・分子 化学変化について、観察実験を通し、化合、分解と質量変化のきまりなどを理解し、その現象を原子や分子のモデルと関</p>	<p>生命・エネルギーは4月～7月、物質・地球は9月～12月、環境は1月～3月に授業を行います。</p> <p>4月～7月 (生命・エネルギー) 9月～12月 (物質・地球) 1月～3月 (環境)</p> <p>(生命) 生命の連続性 身近な生物についての観察・実験を通して、生物が成長し、子孫を残すしくみを理解する学習をします。</p> <p>1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化</p> <p>(エネルギー) 運動とエネルギー 物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解し、日常生活や社会と関連付けて運動とエネルギーの見方や考え方を養う学習をします。</p> <p>1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり</p>

		<p>連づけた見方や考え方を養う学習をします。</p> <p>1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 ※3章以降は、2学期</p>	<p>5章 エネルギー資源とその利用</p>
2 学 期	<p>(生命) 2章 動物の特徴と分類</p> <p>(エネルギー) 3章 力による現象</p> <p>(物質) 観察・実験を通し、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解し、物質の性質や変化の調べかたの基礎を身に付ける学習をします。</p> <p>1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質</p> <p>(地球) 大地の活動の様子や岩石、地層、地形などの観察を通して、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連づけて理解し、大地の変化についての認識を深める学習をします。</p> <p>1章 身近な大地 2章 ゆれる大地</p>	<p>(化学) 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量</p> <p>(生物) 4章 動物の行動のしくみ</p> <p>(地球) 身近な気象の観察・観測を通し、気象要素と天気の変化の関係を見だし、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める学習をします。</p> <p>1章 地球をとり巻く大気のように 2章 大気中の水の変化 ※3章以降は3学期</p> <p>(エネルギー) 電流とその利用 電流と電圧の関係及び電流の働きについて学習します。 1章 電流の性質 2章 電流の正体 ※3章以降は、3学期</p>	<p>(地球) 宇宙を観る 約40億年前に誕生した生命は、この地球上でその営みを重ねてきた。宇宙には地球以外にも無数の天体が存在し、星や太陽を観察し、宇宙のしくみを理解する学習をします。</p> <p>1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方</p> <p>(物質) 化学変化とイオン 水溶液の電気的な性質や酸やアルカリの性質についての観察、実験を行い、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解する学習をします。</p> <p>1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩</p>
3 学 期	<p>(地球) 3章 火をふく大地 4章 語る大地</p> <p>(物質) 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化</p>	<p>(地球) 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季</p> <p>(エネルギー) 3章 電流と磁界</p>	<p>(環境) 自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして</p>

評価の観点と評価内容の予定

観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主 な 評 価 方 法 と そ の 内 容	全 学 年 共 通	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査 ○レポート ○小テスト ○授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査 ○提出物（ワークなど） ○小テスト ○授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期考査 ○提出物（ワークなど） ○小テスト ○授業観察（授業への取組み）